

# 2024年度（2025年3月期） 決算説明資料

---

2025年5月15日

H.U.グループホールディングス株式会社  
(証券コード: 4544)

- ※ 本資料では、記載している部分およびEBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却費)の数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。
- ※ 「親会社株主に帰属する当期（四半期、中間）純利益/純損失」を「当期（四半期、中間）純利益/純損失」と省略する場合があります。
- ※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。
- ※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。

検査・関連サービス事業 : LTS (Lab Testing and its related Services)

臨床検査薬事業 : IVD (In-Vitro Diagnostics)

ヘルスケア関連サービス事業 : HS (Healthcare-related Services)

- ※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2023年度 : 1USD = 144.61 JPY    1EURO = 156.79 JPY

2024年度 : 1USD = 152.58 JPY    1EURO = 163.78 JPY

2025年度（計画） : 1USD = 150.00 JPY    1EURO = 158.00 JPY

# Executive Summary 1

## 連結

- 前期比：増収増益  
(売上高+61億円、EBITDA+66億円、営業利益+67億円、当期純利益+103億円)
- EBITDAはコロナ前（19年度）を上回り、17-18年度レベル
- 営業CFも同様にコロナ前（19年度）のレベルを超過

## LTS

- ベース事業※の回復：前期比+6%増収
- 収益性改善施策
  - 限界利益改善は計画通り、固定費削減は未達
  - H.U. Bioness Complexは完全稼働を開始

## IVD

- NEURO売上は、当初想定以上に好調（今期約47億円、前期比2.4倍）
- 前期比：ベース事業は堅調に推移

※ 新型コロナウイルス関連売上高除く

# Executive Summary 2

## H.U. Bioness Complex

- 完全稼働を開始
- 25年度1Qのみ一時コスト（約10億円）の発生を見込む
  - 稼働後のハイパーケア※1および旧システム（メインフレーム）のシャットダウン対応

## 4Q営業利益※2の未達要因

4Q営業利益見通し※2（約18億）に対する未達要因

- LTS  
固定費削減未達
- IVD  
ベース事業の未達  
営業外収益への洗い替え（約3億円）
- 全社  
想定外の費用支出（アドバイザリ費用：約2億）

※1 システム移管直後に限定したトラブル対応体制整備のためのコスト

※2 2月7日 通期連結業績予想の修正発表時の想定

# 2024年度業績概況

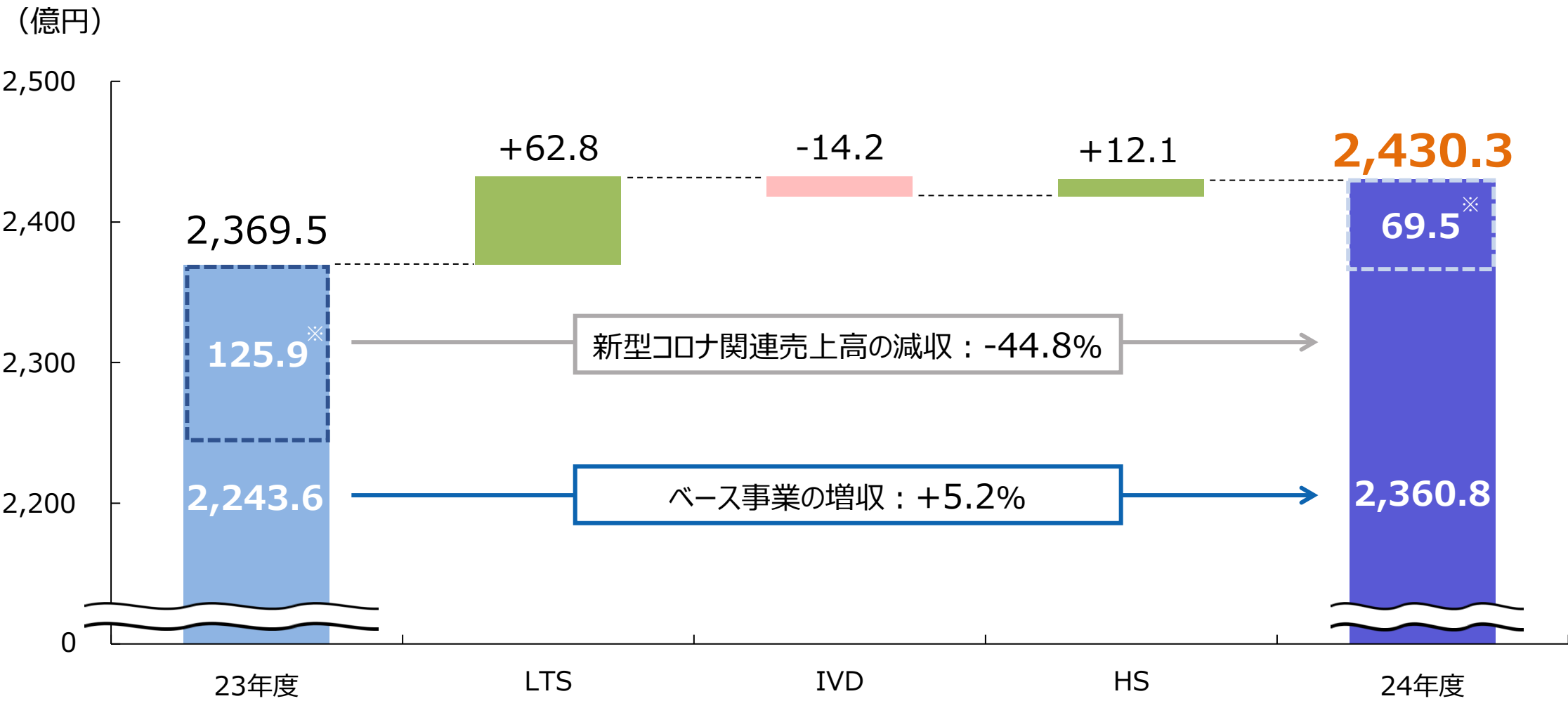
---

# 連結業績（対前期比）

(億円)

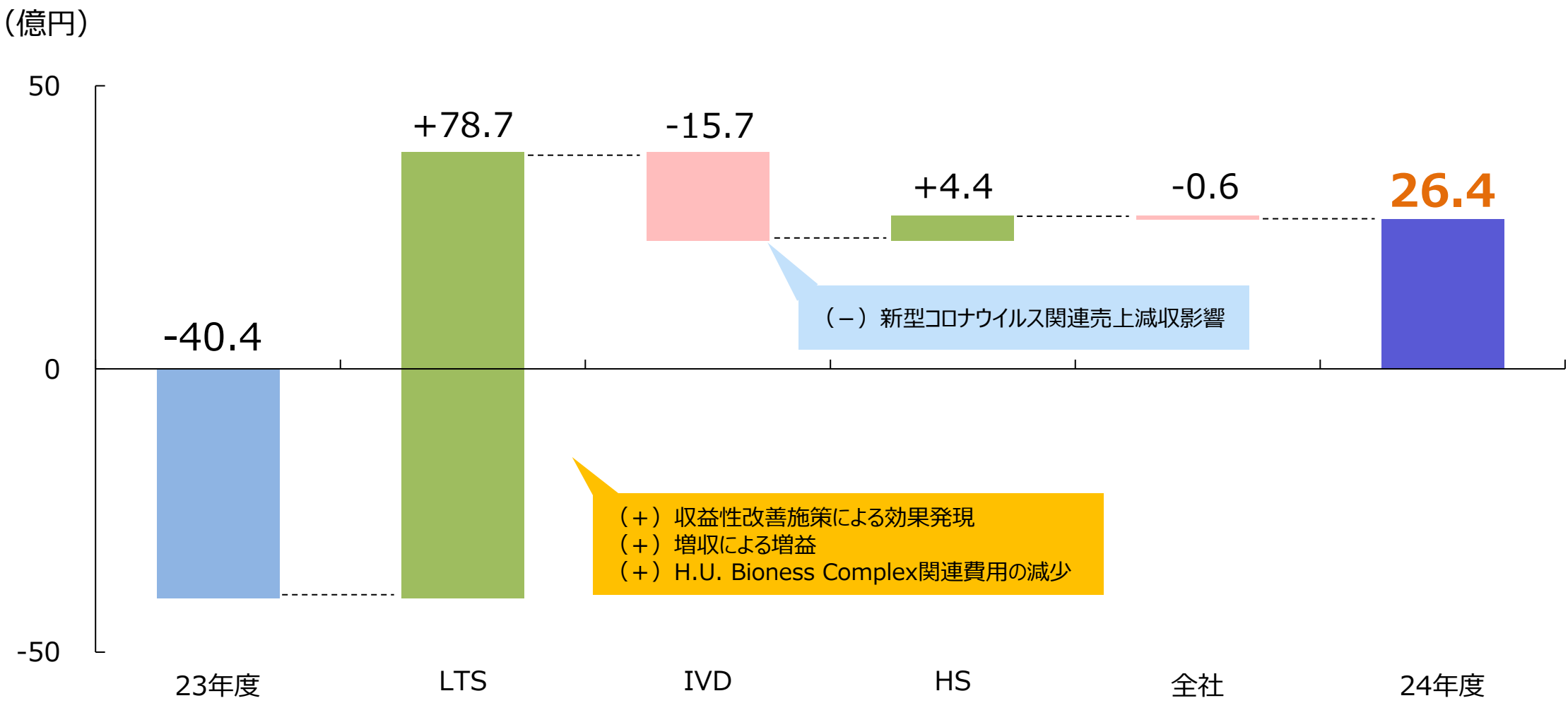
	23年度		24年度		対前期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減	
売上高	2,369.5		2,430.3		+60.7	+2.6%
LTS	1,467.3		1,530.1		+62.8	+4.3%
IVD	619.1		604.9		-14.2	-2.3%
HS	283.1		295.2		+12.1	+4.3%
EBITDA	168.3	7.1%	233.9	9.6%	+65.6	+39.0%
LTS	-1.7	-0.1%	76.5	5.0%	+78.2	—
IVD	182.8	29.5%	166.9	27.6%	-15.8	-8.7%
HS	30.4	10.7%	35.3	12.0%	+5.0	+16.3%
全社	-43.2		-44.9		-1.7	—
営業利益/損失	-40.4	-1.7%	26.4	1.1%	+66.8	—
LTS	-125.1	-8.5%	-46.4	-3.0%	+78.7	—
IVD	129.2	20.9%	113.5	18.8%	-15.7	-12.2%
HS	13.4	4.7%	17.8	6.0%	+4.4	+33.0%
全社	-57.8		-58.4		-0.6	—
経常利益/損失	-72.4	-3.1%	47.4	2.0%	+119.8	—
当期純利益/純損失	-75.5	-3.2%	27.6	1.1%	+103.1	—

# 連結売上高（対前期比）



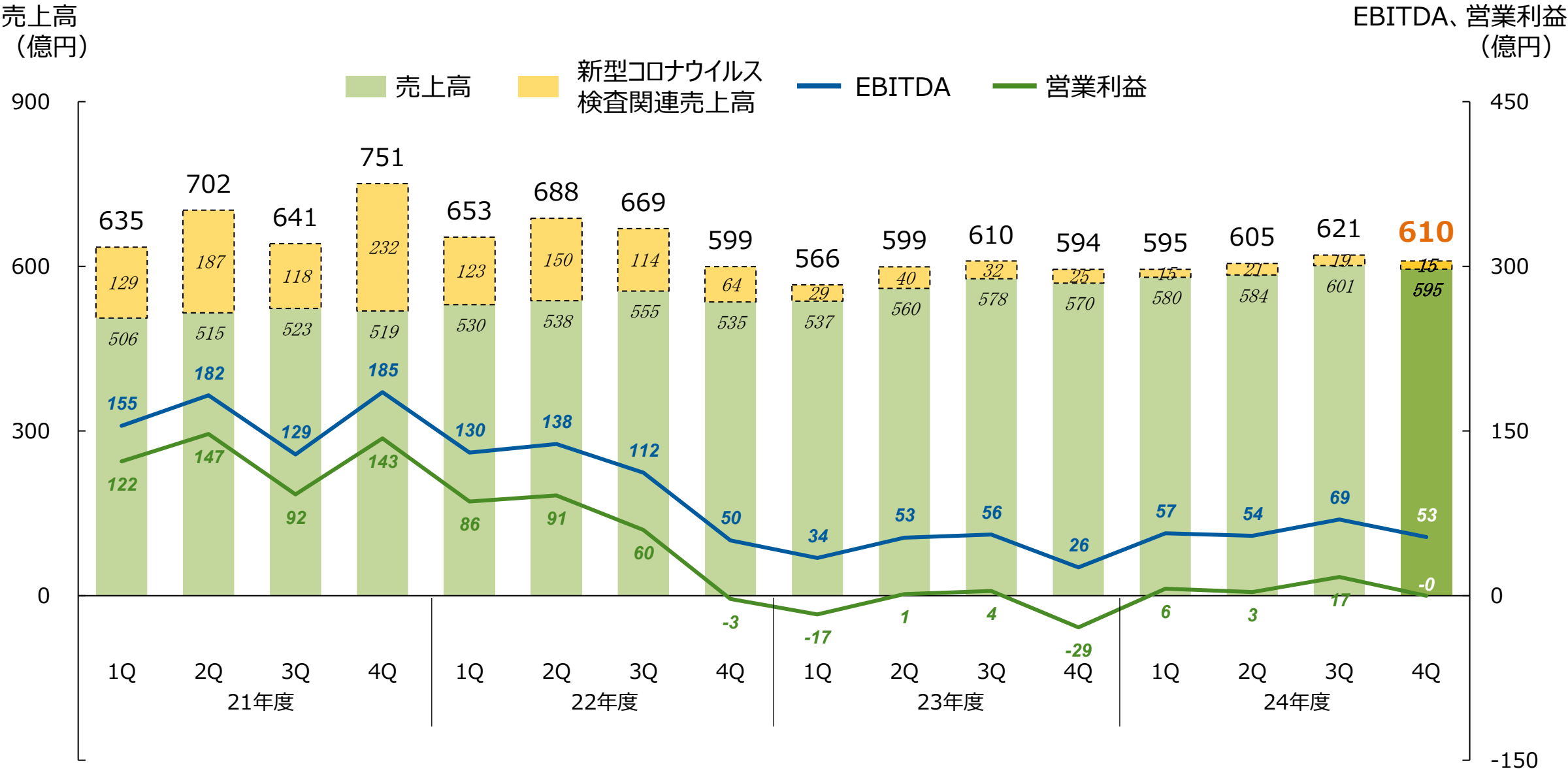
※ 新型コロナウイルス関連売上高

# 連結営業利益（対前期比）

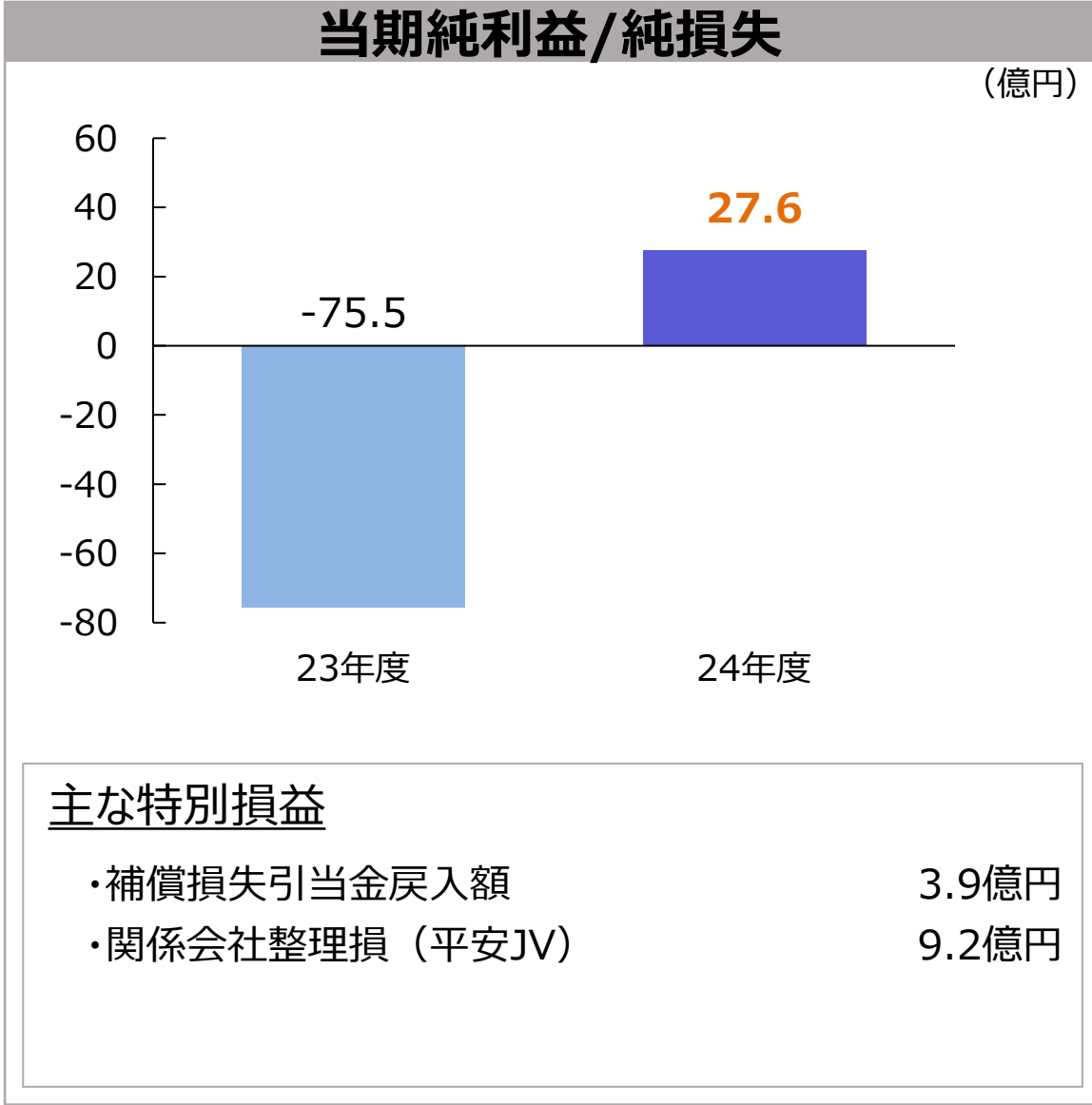
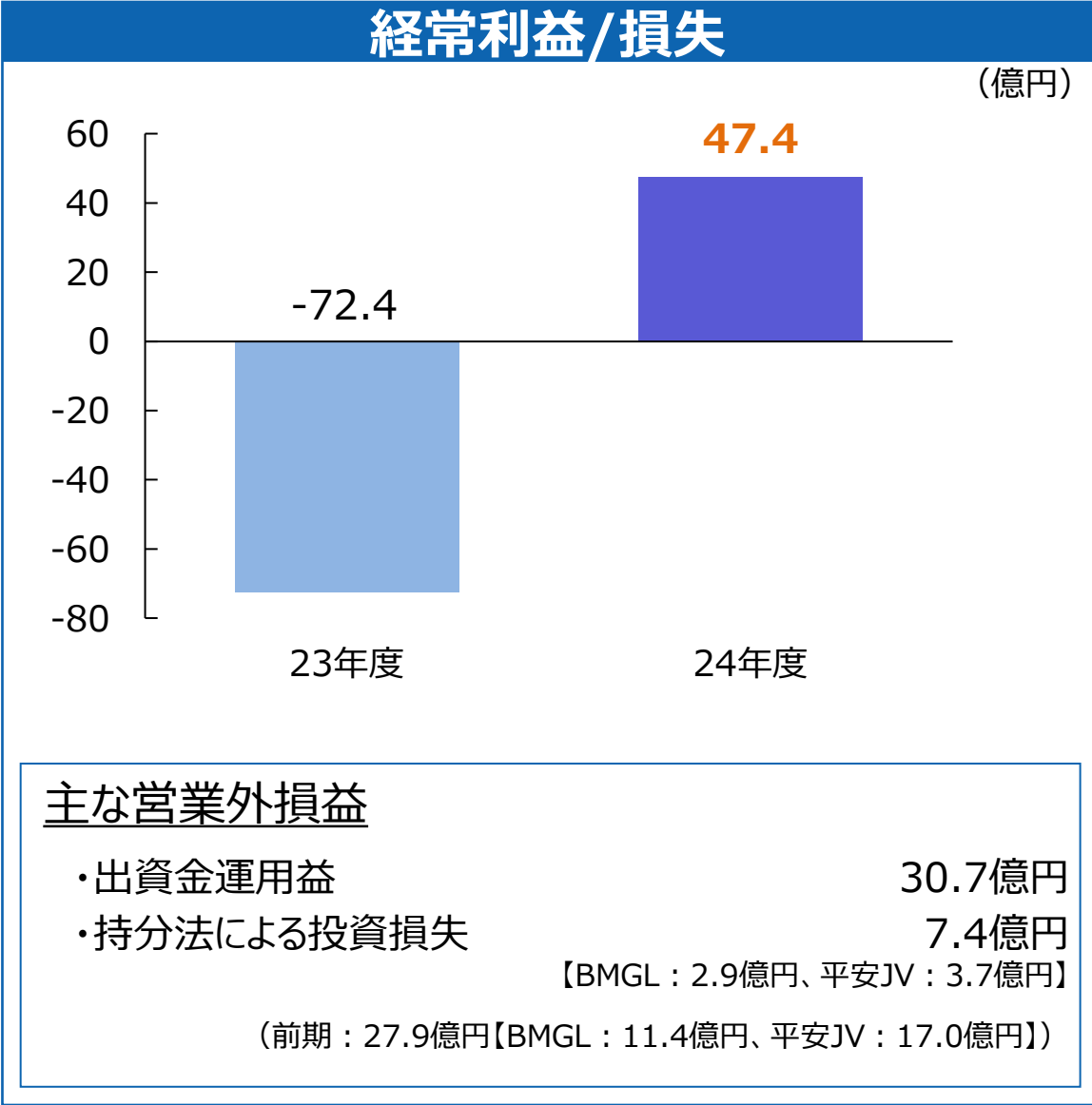




# 四半期毎の業績推移



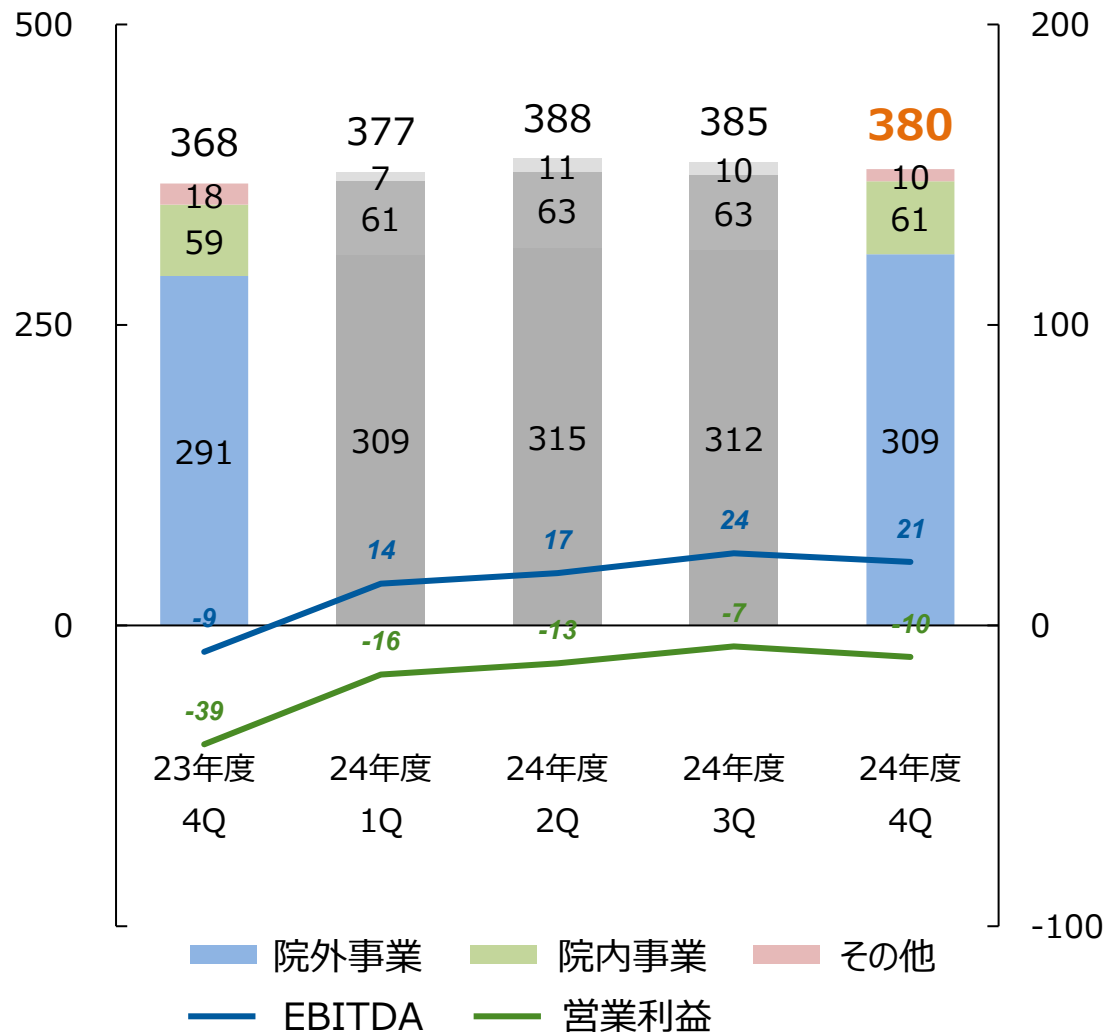
# 連結経常利益/損失および当期純利益/純損失



# LTS事業

売上高  
(億円)

## 四半期推移



## 対前期比

(億円)

	23年度	24年度	対前期比 増減	
売上高	1,467.3	1,530.1	+62.8	+4.3%
院外事業	1,175.3	1,244.6	+69.3	+5.9%
院内事業	243.5	247.2	+3.7	+1.5%
その他	48.5	38.4	-10.1	-20.8%
EBITDA 利益率	-1.7	76.5	+78.2	—
営業利益 利益率	-125.1	-46.4	+78.7	—

### 売上高

- 遺伝子関連検査の増加
- ベース事業（新型コロナ関連除く）：約6%の成長
- テスト数：+5%
- 新型コロナウイルス関連：約13億円（前年同期:約35億円）

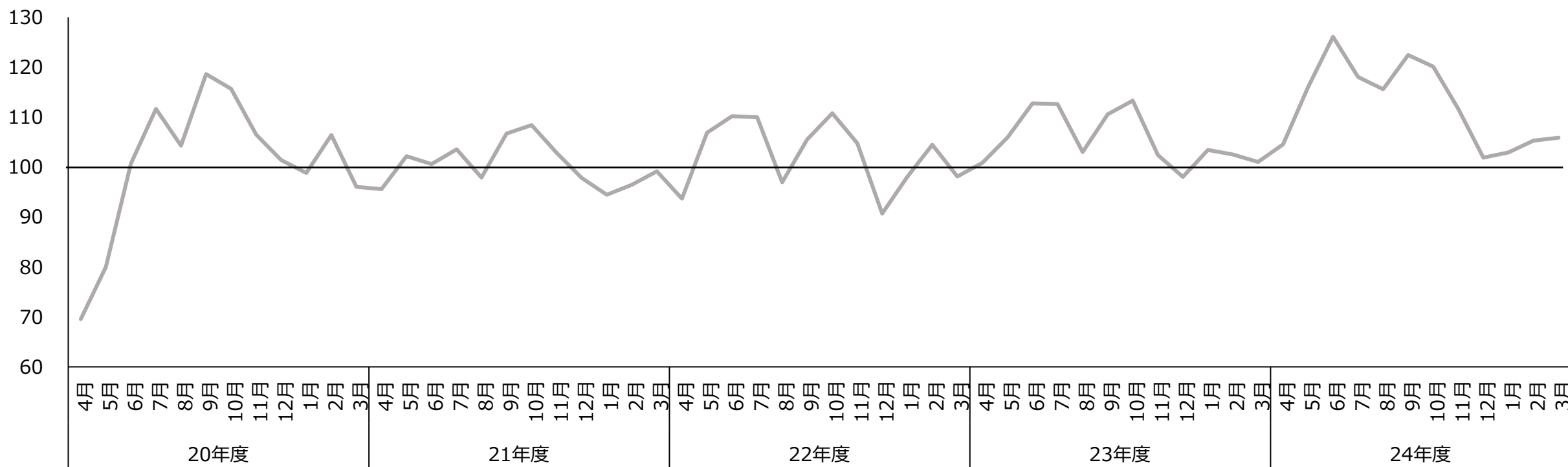
### 営業利益

- 収益性改善施策による効果発現
- 増収による増益
- H.U. Bioness Complex関連費用の減少

# LTS：テスト数の推移（2020年4月以降）

- 新型コロナの5類移行、専用病床確保の終結など環境変化等を背景としてテスト数は成長
- アフターコロナにおけるベースの成長が継続

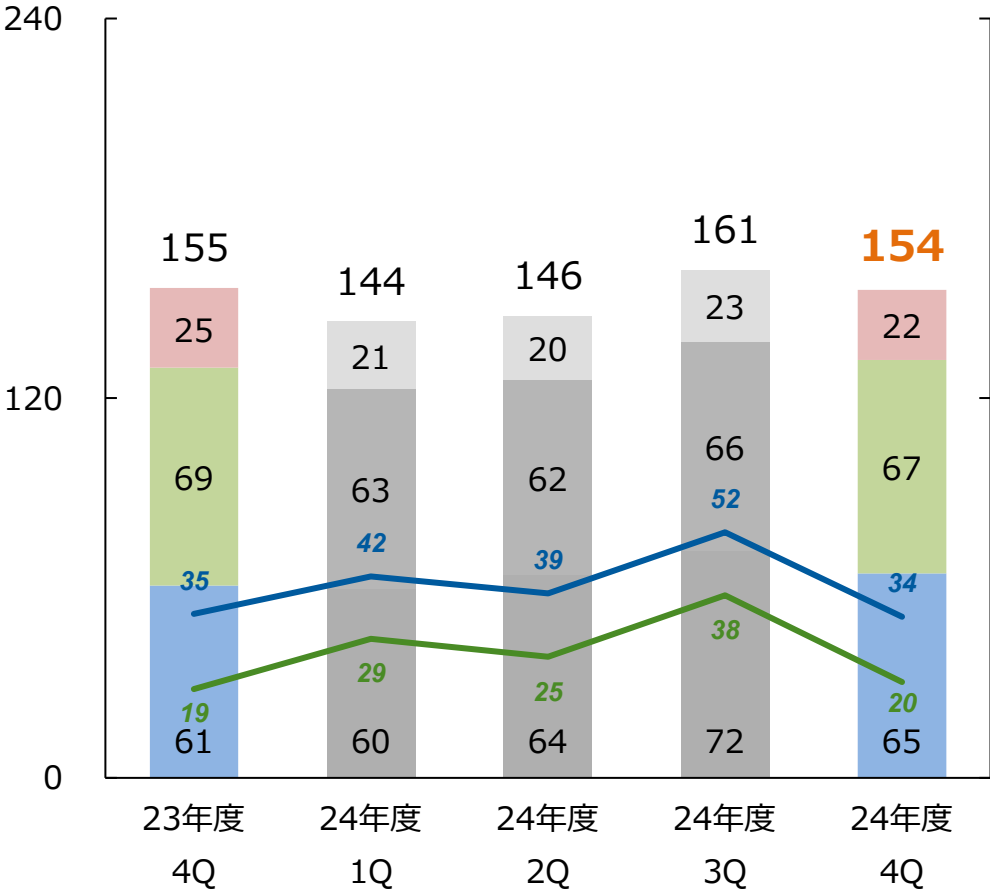
SRLにおける2019年度の一日当たりテスト数を100とした場合の推移



# IVD事業

## 四半期推移

売上高  
(億円)



■ Lumipulse事業 ■ CDMO・原材料供給事業  
■ その他製品 — EBITDA — 営業利益

EBITDA  
営業利益  
(億円)

160

80

0

## 対前期比

(億円)

	23年度	24年度	対前期比 増減	
売上高	619.1	604.9	-14.2	-2.3%
ルミパルス	257.2	260.2	+3.0	+1.2%
国内	220.2	196.8	-23.4	-10.6%
海外	37.0	63.4	+26.4	+71.3%
CDMO・原材料	256.8	258.5	+1.7	+0.7%
その他	105.1	86.2	-18.9	-18.0%
EBITDA 利益率	182.8 29.5%	166.9 27.6%	-15.8	-8.7%
営業利益 利益率	129.2 20.9%	113.5 18.8%	-15.7	-12.2%

ルミパルス 内販売上高	45.3	37.8	-7.5	-16.6%
-------------	------	------	------	--------

### 売上高

- 海外ルミパルスにおけるNEURO試薬の伸長を中心にベース事業が堅調に成長（NEURO関連：約47億円、前期比2.4倍）
- 新型コロナウイルス関連：約56億円（前年同期：約91億円）

### 営業利益

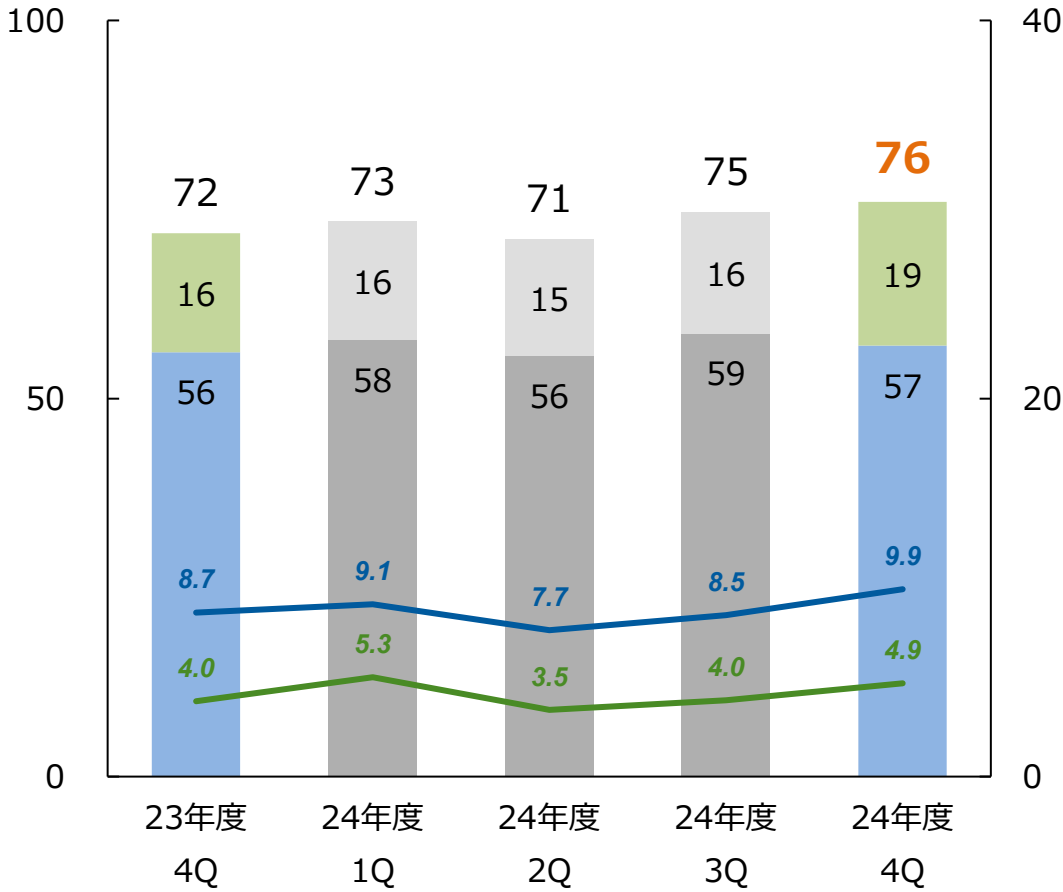
- 先行投資としてのR&Dコストが対売上高比率で上昇するも健全な利益率を確保

為替影響（売上高：+18億円、営業利益：+2.5億円）

売上高  
(億円)

四半期推移

EBITDA  
営業利益  
(億円)



■ 滅菌/手術関連事業 ■ 在宅・福祉用具事業  
— EBITDA — 営業利益

対前期比

(億円)

	23年度	24年度	対前期比 増減	
売上高	283.1	295.2	+12.1	+4.3%
滅菌・手術関連	220.5	229.0	+8.5	+3.8%
在宅・福祉用具	62.6	66.2	+3.6	+5.7%
EBITDA 利益率	30.4 10.7%	35.3 12.0%	+5.0	+16.3%
営業利益 利益率	13.4 4.7%	17.8 6.0%	+4.4	+33.0%

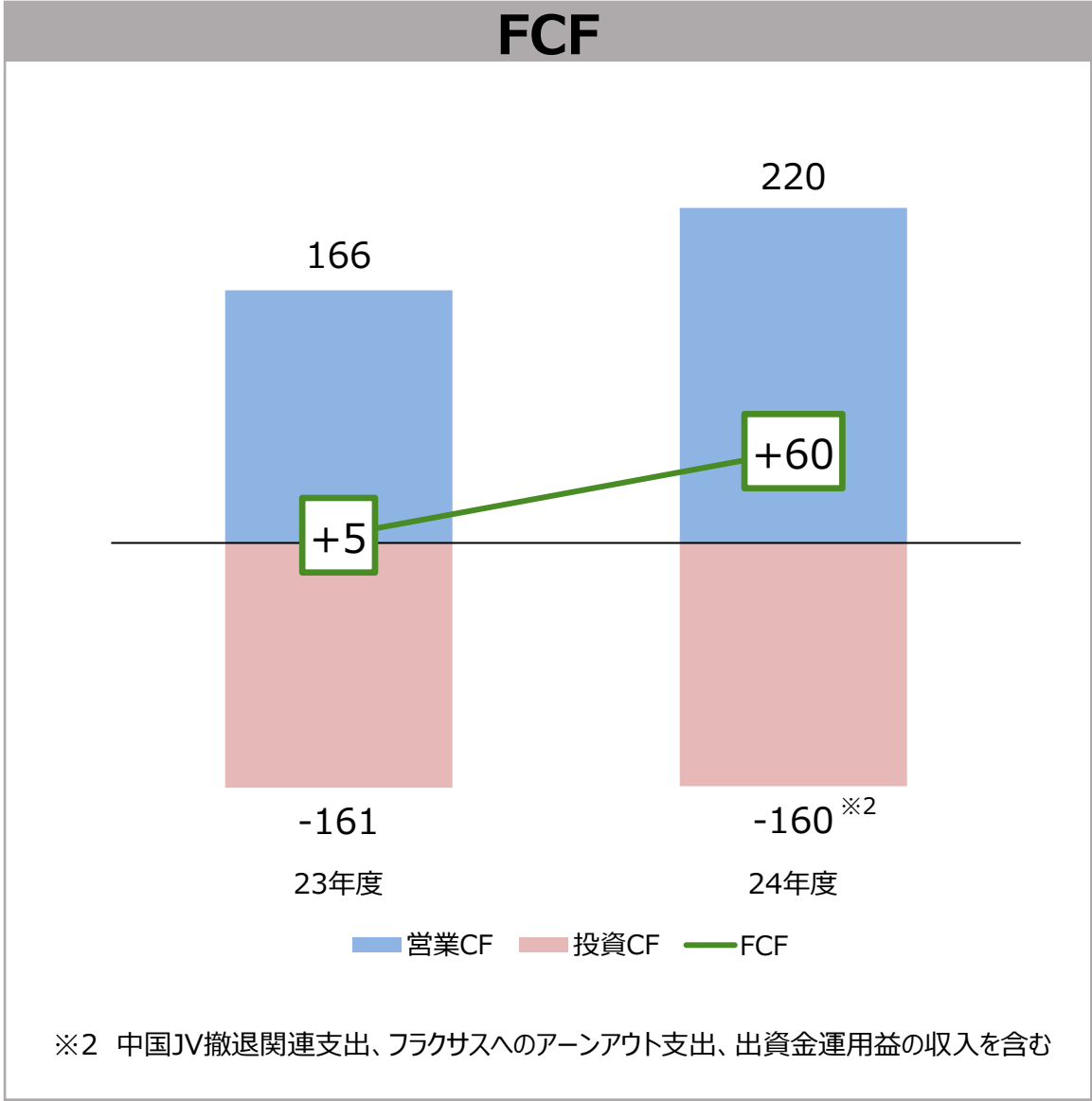
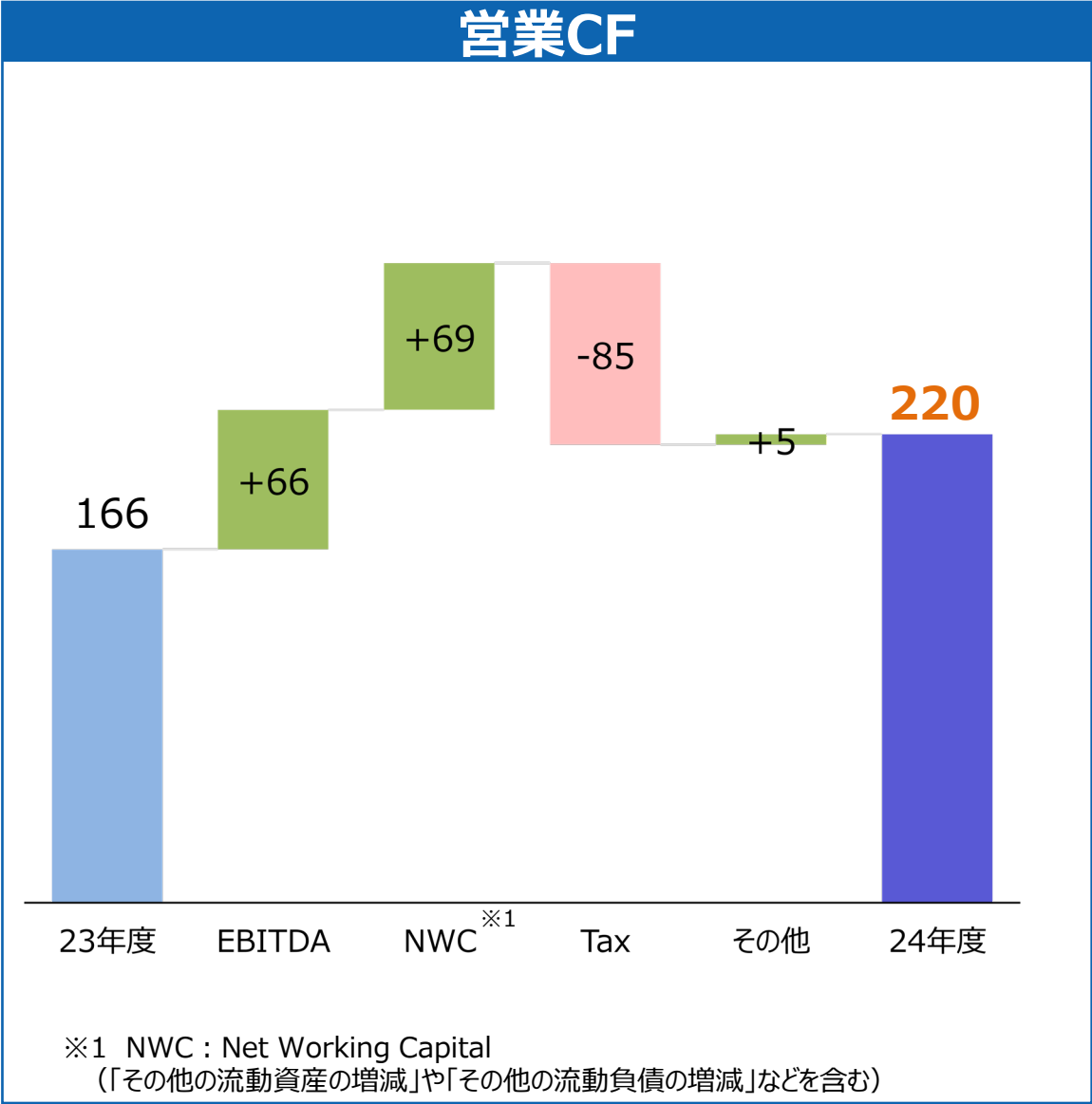
売上高

- 滅菌・手術関連事業：堅調に推移

営業利益

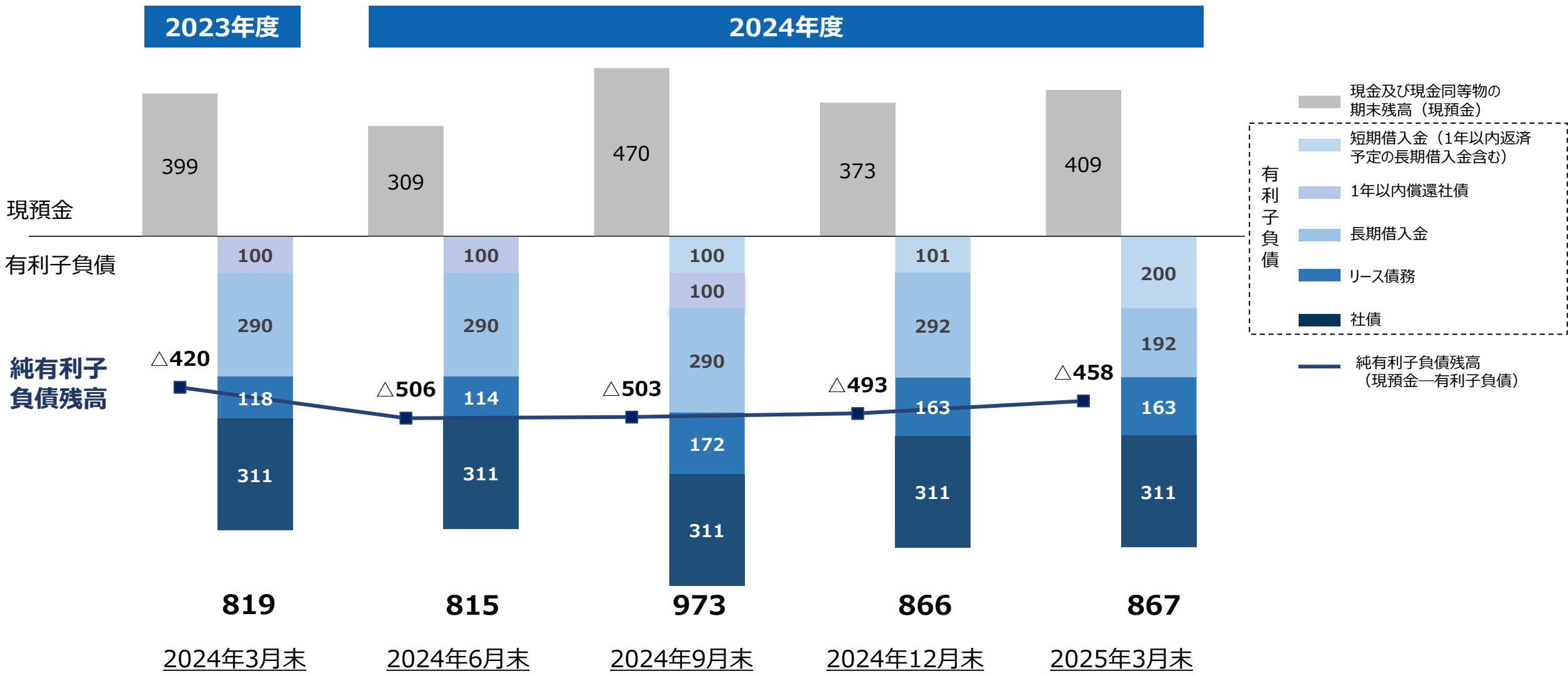
- 滅菌・手術関連事業の収益性改善

# 2024年度連結キャッシュ・フロー（対前期）



# 現預金・有利子負債残高

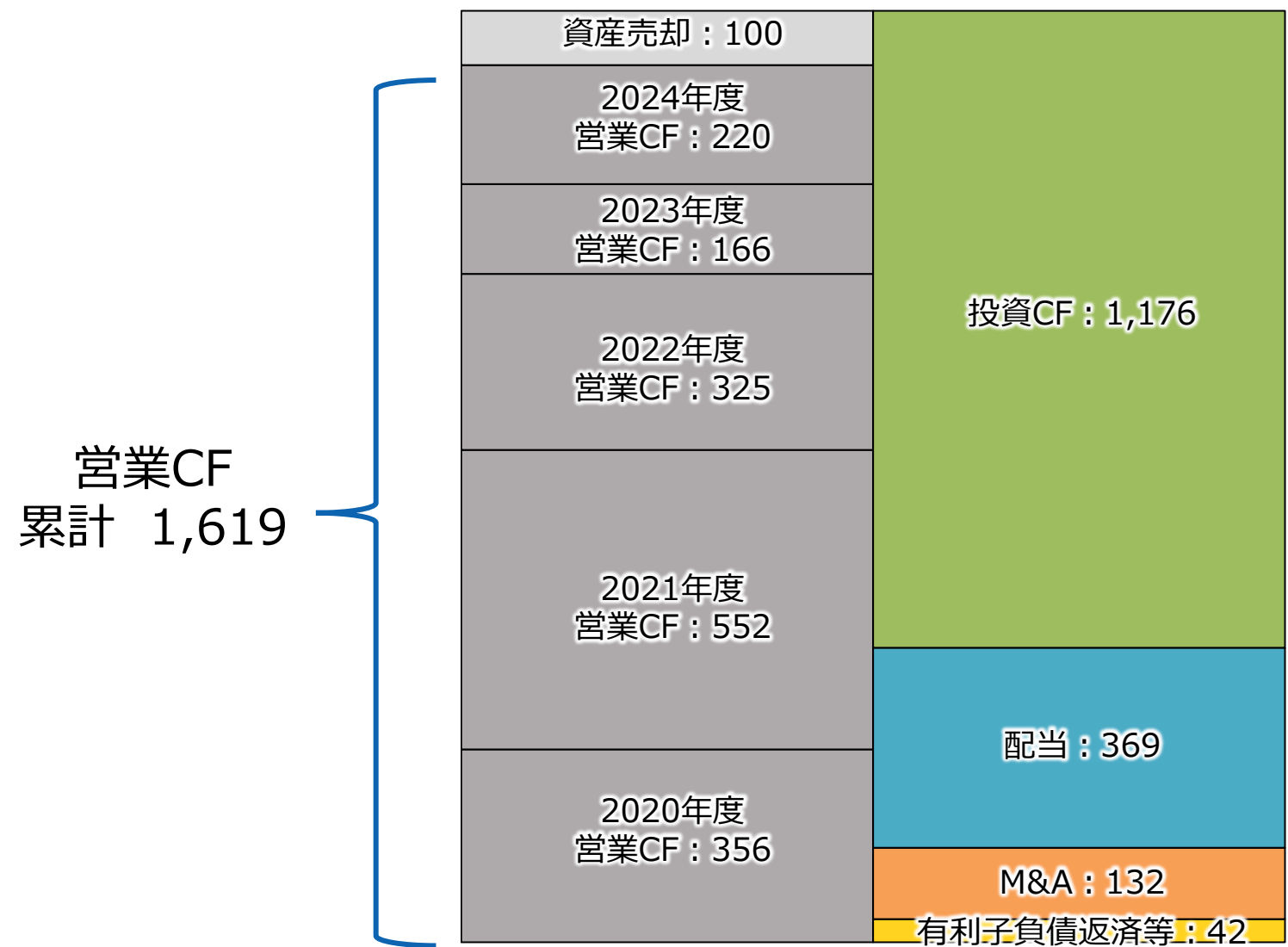
(億円)





# 2020年度～2024年度（5年間）キャピタルアロケーション

（億円）



# 2025年度通期計画

---

# 2025年度通期連結業績見通し

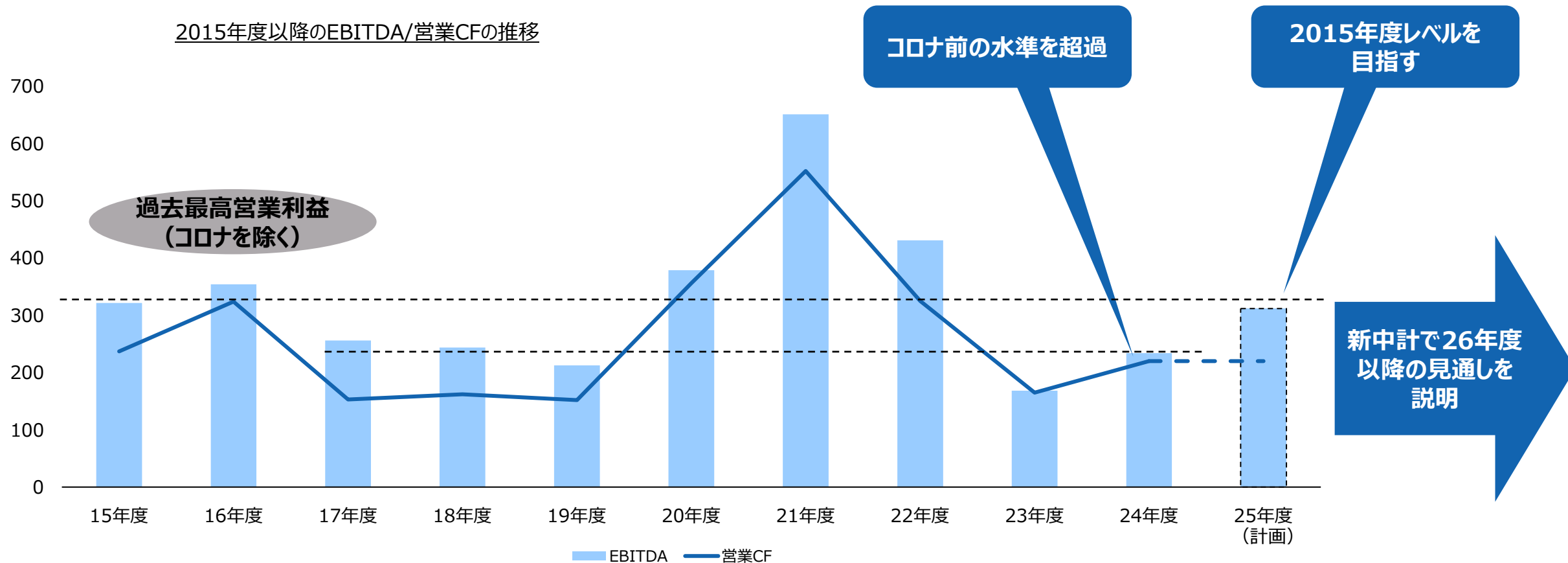
- 2025年度はLTSの黒字化必達
- 最適なキャピタルアロケーションを実践すべく、セグメント別でのROIC管理を開始

	2024年度 実績	2025年度 計画	(億円)	
売上高	2,430	<b>2,520</b>	+90	+3.7%
LTS	1,530	1,600	+70	+4.6%
IVD	605	600	-5	-0.8%
HS	295	320	+25	+8.4%
EBITDA	234	<b>305</b>	+71	+30.4%
LTS	77	145	+68	+89.5%
IVD	167	170	+3	+1.8%
HS	35	35	-0	-0.9%
全社	-45	-45	-0	-
営業利益	26	<b>80</b>	+54	+203.0%
LTS	-46	5	+51	-
IVD	113	115	+2	+1.4%
HS	18	18	+0	+1.2%
全社	-58	-58	+0	-
経常利益	47	<b>60</b>	+13	+26.5%
当期純利益	28	<b>55</b>	+27	+99.2%

	2024年度 実績	2025年度 計画	
ROE	2.0%	<b>4.1%</b>	+2.1pt
ROIC	0.8%	<b>2.5%</b>	+1.7pt
LTS	-5.0%	0.6%	+5.6pt
IVD	9.6%	10.6%	+1.0pt
HS	14.3%	14.2%	-0.1pt

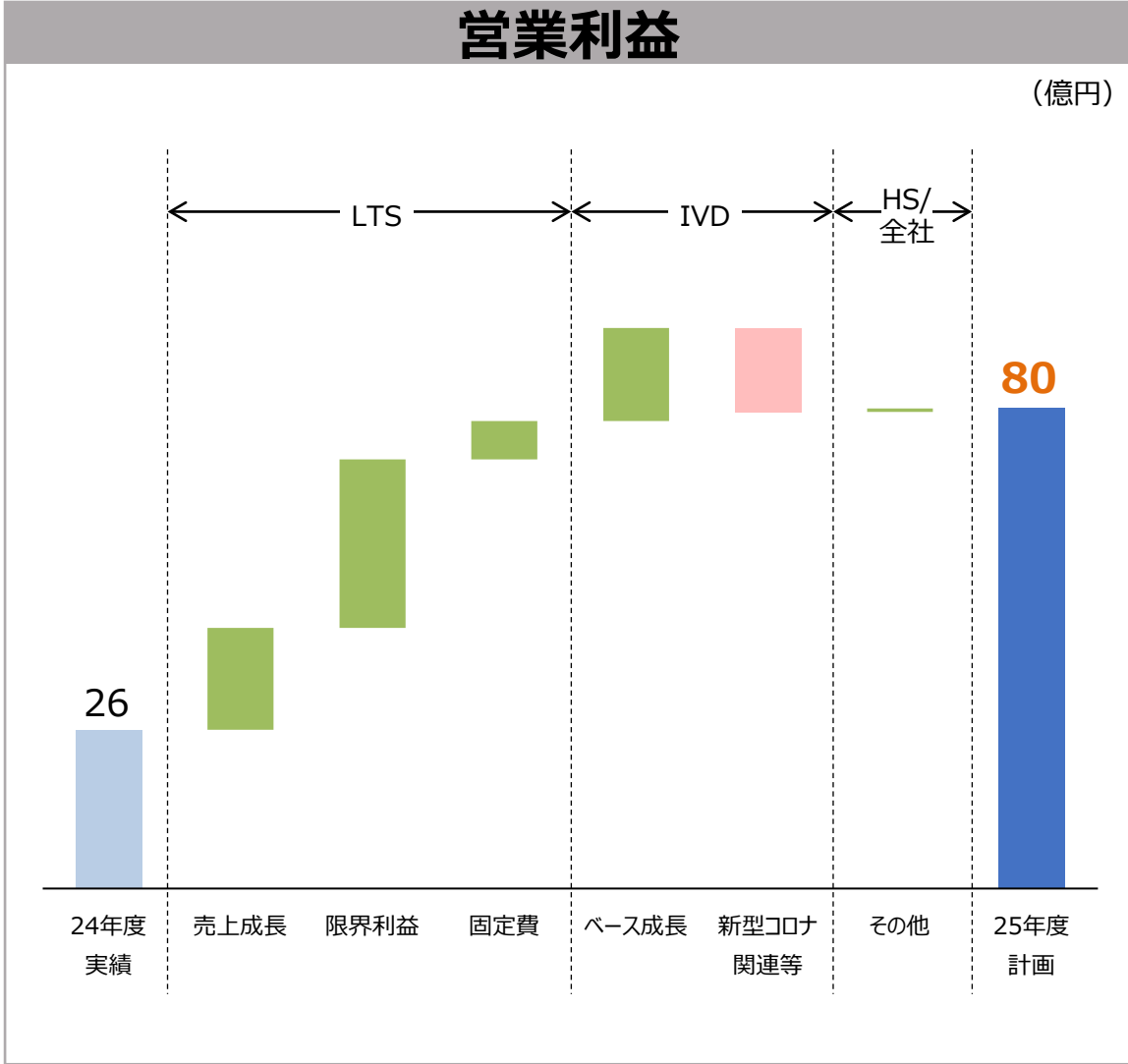
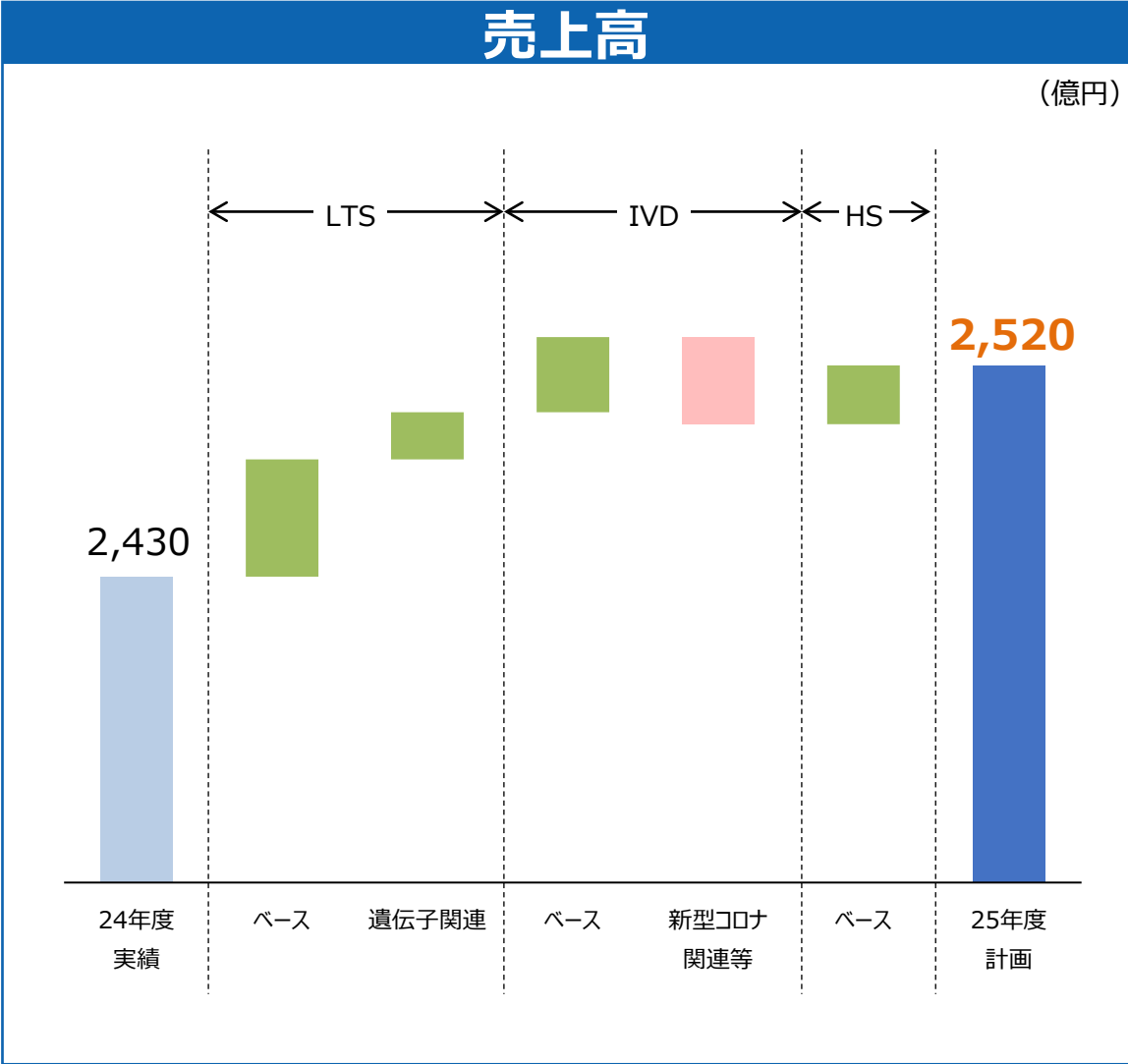
# 15年度以降のEBITDA/営業CF推移<sup>※</sup>

- 24年度にはコロナ前の水準（19年度）を超過し、17－18年度レベルのEBITDA/営業CFを創出
- 今後はさらなる成長を想定（増益基調を加速）



※ 2015-2017年度は海外検査事業（MLS）を除く

# 25年度計画\_売上高/営業利益Waterfall



# 2025年度計画：LTS

売上高

セグメントとしては約5%の成長

- ベース検査
- サービスレベルの適正化と新規奪取等により4%成長
- 遺伝子関連検査
- 新規項目拡販等により7%成長

EBITDA  
営業利益

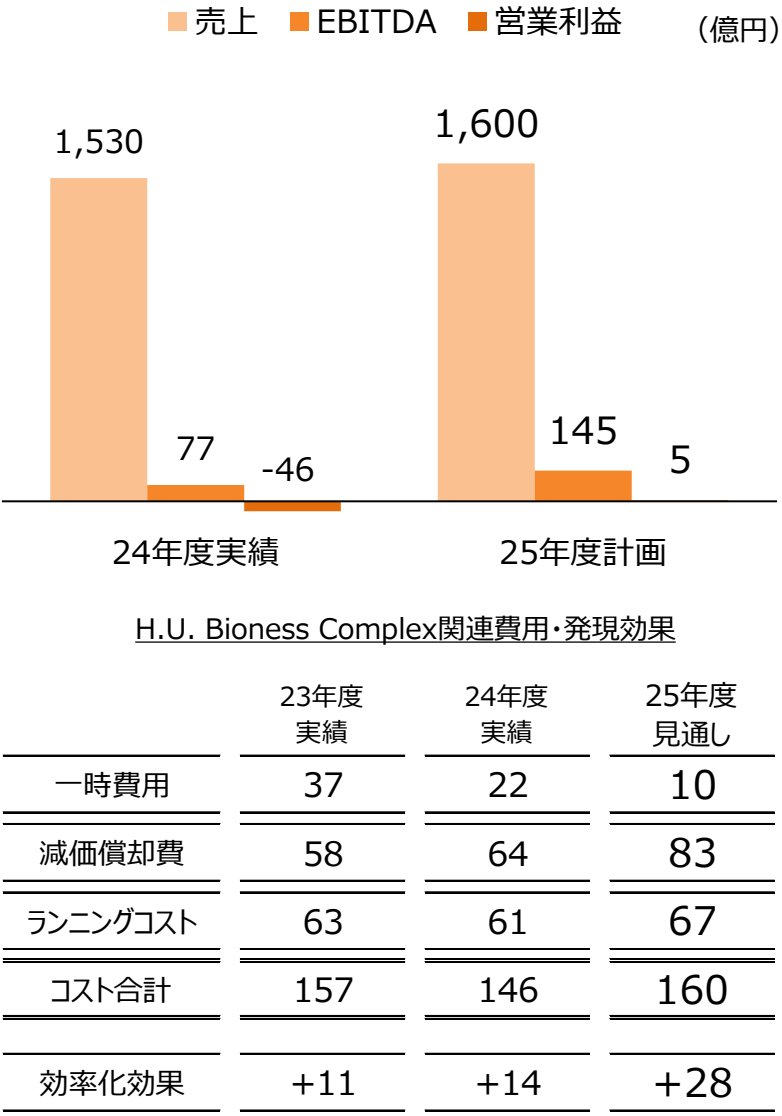
セグメント黒字化の必達  
主な増益要因

- 販売価格の適正化
- ベース売上成長による利益増
- 収益性改善施策（検査オペレーションの改善）
- 委託業務適正化（集荷、社内業務）・人件費削減

主な減益要因

- 試薬・消耗品等の価格改定

※H.U. Bioness Complex関連費用・発現効果の影響はほぼフラット  
（一時費用減少と効果発現が減価償却費・ランニングコスト増加を相殺）



# 2025年度計画：IVD

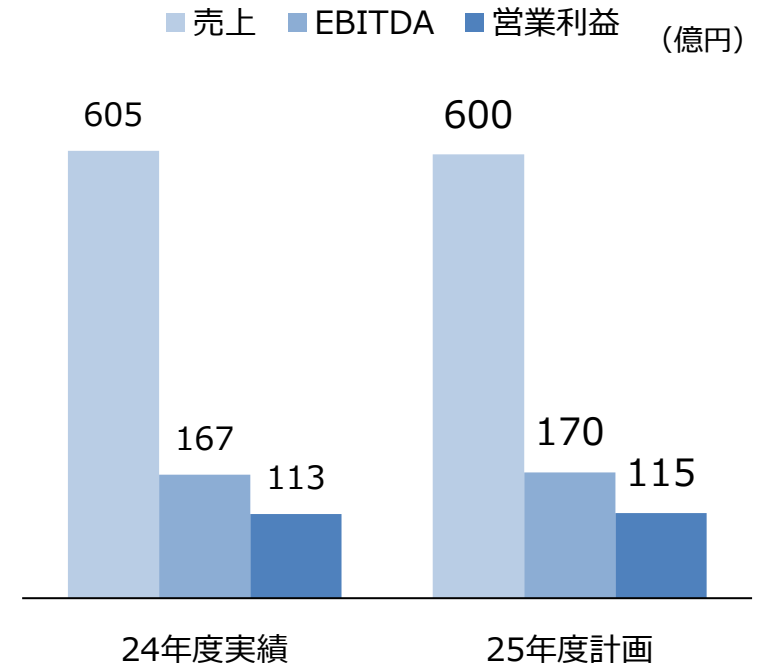
## 売上高

- CDMO
  - 新規パートナーへの試薬・原料出荷が開始
  - グローバル市場に連動した安定的な成長
- NEURO
  - AD※項目（pTau217/Aβ1-42（血液））の欧米市場における拡販および安定供給
  - AD以外の項目のパイプライン/ラインアップ拡充
- 国内ルミパルス
  - SRL顧客への販売拡大および新規項目の拡販
- その他
  - COVID売上の減少（今後はベース検査化を想定）

## EBITDA 営業利益

- ベース事業の成長により、増益を目指す
- NEURO：欧米での拡販（先行者利益の享受）
  - CDMO：安定的に利益創出
  - 引き続きR&Dを強化しつつ、適正なコスト管理を実施

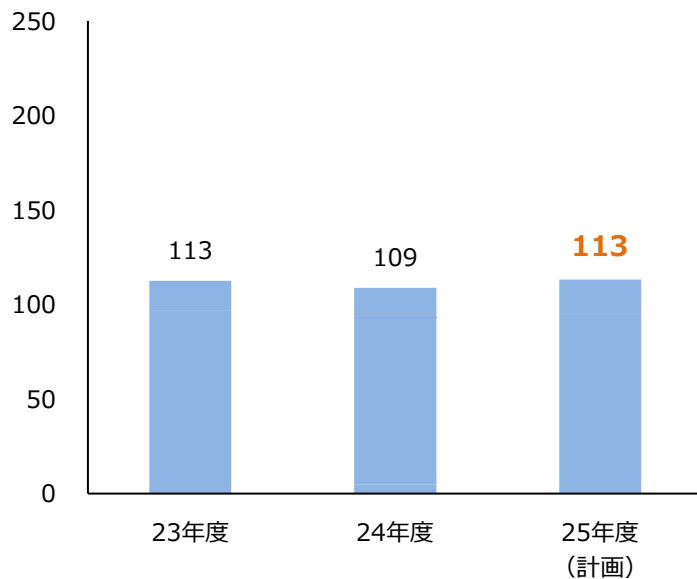
※ AD：Alzheimer's Disease



# 2025年度計画：研究開発費、設備投資、減価償却費

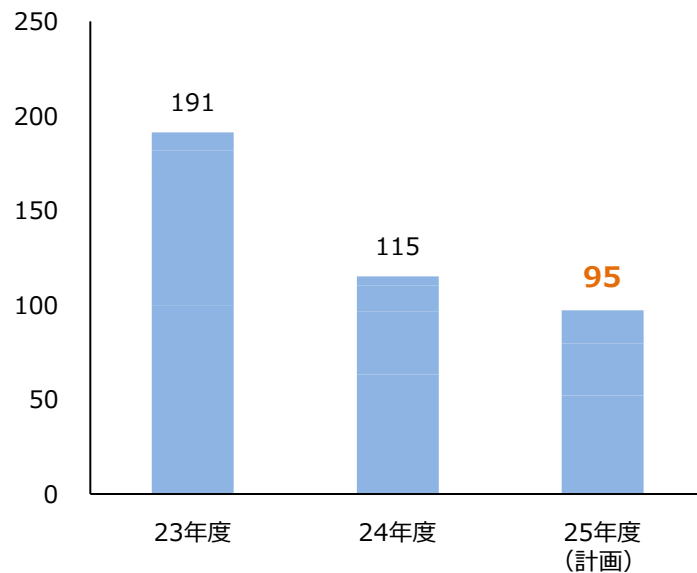
(億円)

## 研究開発費



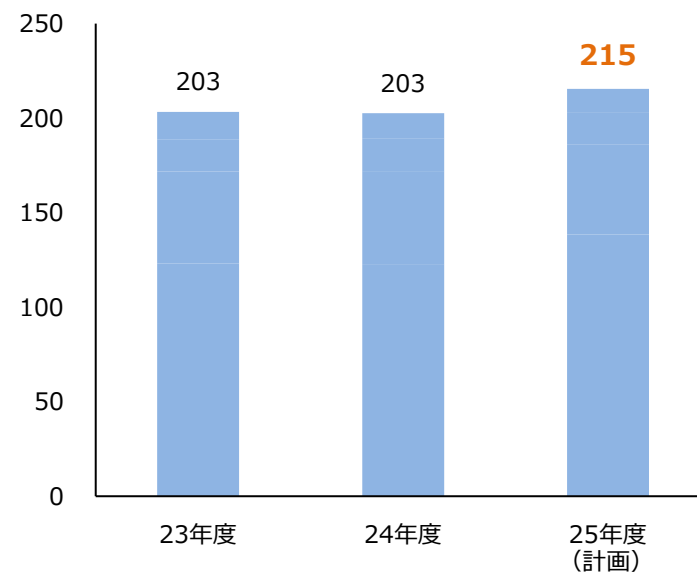
- IVDは売上高の12%を目安とする
- ルミパルス試薬項目開発は継続 (NEUROなど)

## 設備投資額



- H.U. Bioness Complex関連投資は24年度中に完了
- 設備投資はピークアウトしメンテナンス投資が中心

## 減価償却費



- 償却費は25年度がピーク
- 以降は減少を見込む



# 株主還元方針

- DOE6%を目指し安定配当を継続すべく、累進配当を方針とする  
(2025年度の一株当たり配当金は125円の予想)
- 自社株買いを「自社への戦略投資」と位置づけ、積極的かつ機動的に実施  
(5/15 50億円決議済み)

## 従来の 方針

各事業から生み出される利益および資金につきましては、主たる配当のKPIとして連結自己資本配当率（DOE）6%レベルを目指し、その上でキャッシュ・フロー、中長期的に健全な財務基盤の維持などを総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。  
また、内部留保にかかる資金は中長期的な成長に向けた投資を最優先として充当してまいります。

## 今後の 方針

各事業から生み出される利益および資金につきましては、主たる配当のKPIとして連結自己資本配当率（DOE）6%を目指し、その上でキャッシュ・フロー、中長期的に健全な財務基盤の維持などを総合的に勘案した累進配当を実施。  
また、自己株式の取得を「自社への戦略投資」と位置づけ、積極的かつ機動的に実施

## 【連絡先】

**H.U.グループホールディングス株式会社**

**IR/SR部   ir@hugp.com**

### **将来見通しに関する注意事項：**

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。